



発表します! / 将来の夢 / 上厚真小学校6年

バスケットボール選手

ほうまいいん

陸上選手

うちやま かおる 内山 佳郁さん

きむら あおと 木村 蒼杜さん

いとう ゆうへい 伊藤 優平さん

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!

現在活動している協力隊 (7月末現在)

農業▷9人 教育魅力化▷3人 スポーツ▷1人
起業型▷11人 協働型▷13人 福祉▷1人

農業支援員
ごとう りょうへい
後藤 涼平さん

着任: 令和5年4月(1年目)
出身: 北広島市



一これまでの経歴を教えてください。
自然関係の大学で学びたくて酪農学園大学を選びました。卒業後は介護業界、IT業界を経て、大学の同窓生に誘われて十勝管内更別村の農業法人に転職しました。従業員として3年間、畑作4品目のジャガイモ・豆・小麦・ビートと、長芋やゴボウを生産しました。

一なぜ厚真町で農家になろうと思ったのですか？
農業に携わるうちに、作物の季節にあわせて自分で予定や計画を立て、自分なりのやり方で生産してみたいと思うようになりました。しかし、十勝管内で農地を取得するには、最低50ha以上が必要で、新規で農家になるにはハードルが高かったです。また、私はすでに農業経験があったことから、新規就農のための制度の対象外となっていました。地域おこし協力隊の制度であれば就農できることを知りました。厚真町は、農業担い手育

成センターのサポートが受けられ、現実的に就農できそうな環境があり、新しい人を受け入れる雰囲気もあったので決めました。

一厚真町ではどのようなことをしていますか？
米農家さんのところで種まきや田植えを教わりました。研修農場では、ほうれん草、イチゴの管理から始まり、カボチャ、ブロッコリー、ハスカップの栽培といった、さまざまな農業技術を身につけています。

一厚真町はどんな印象ですか？
農家さんのお手伝いをしたり、総合ケアセンターゆくりのトレーニング施設を利用したり、他の地域おこし協力隊の方と居酒屋にいたりしていますが、町民の方は皆さん優しいと感じています。市街地の近くに住んでいて、とても住みやすいです。

一3年後の目標は？
農作物の生育とそれに合わせた作業計画などを自分でコントロールできるようになりたいです。小面積・少人数でできて単価の高いミニトマトかトマトを生産したいです。スマートフォンでビニールハウス内の状況を確認し、遠隔操作することによって、室温や水分量、栄養の管理を自動化したいです。経験豊富なさまざまな農家さんからいろいろなことを学び、自分のペースで働けるようになりたいです。